

学校名： 安芸太田町立戸河内・筒賀・上殿小学校

授業者： 中村 可南子

教材作成者： 萩原 英子, 池田 謙治

授業日時	令和3年6月16日(水)	教科・科目	算数科
学年・年次	第4学年	児童生徒数	17名
実施内容	考える力をのばそう 「ちがいに注目して」	本時/この内容を扱う全時数	1/1
教科書及び教科書会社	新しい算数4上 東京書籍		

<p>授業のねらい(本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)</p> <p>問題構造を図に表して、分配や移動に伴う2量の差に着目し問題を解決することを通して、問題構造を簡潔に図に表すことよさに気づくとともに、問題解決の能力を高める。</p>
<p>メインの課題(授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)</p> <p>3年生と4年生は、60まいの色紙を分けてつるを折ります。4年生は3年生より12まい多くなるようにします。それぞれの色紙は何まいになりますか。</p>
<p>児童生徒の既有知識・学習の予想(対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)</p> <p>全体を同じ数ずつ2つに分け、4年生は13まい多くなるようにしようとする児童が多くいると考える。また、図や立式もできない児童も多いと考える。</p>
<p>期待する解答の要素(本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)</p> <p>ちがう量に分けるときは、ちがいに目をつけて、もとの量からちがいを最初に引いて、同じ量にしてから2で割ると片方の量が求められる。最後に、ちがいを足したり引いたりすると、もう片方の量が求められる。</p>
<p>各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください></p> <p>[エキスパートA] ○先に等分してしまうと間違ってしまうことに気づく。 [エキスパートB] ○もとの量をちがう量に分けるときの線分図は、長さ比べのように書くとよい。 [エキスパートC] ○ちがう量に分けるときは、もとの量からちがいを引いて、残りを割り算で等分する。</p>
<p>ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容</p> <p>なし</p>

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	たし算・ひき算・かけ算・わり算の問題構造を線分図に表して立式したり、問題を解決したりする学習	位をそろえて、4けたまでの演算ができる。
前時		
本時	発展問題としての学習	問題構造を簡潔に図に表すことのよさに気づき、立式したり問題解決したりすることができる。
この後	様々な条件の中で、立式したり問題を解決したりする学習	問題の意味に合わせて、その構造を線分図に書き表すことで、立式したり問題解決したりすることができる。

上記の一連の学習で目指すゴール

- 線分図に書き表すことで、問題構造を考えることができる。
- 求めるべき条件にあった式のつくり方とそのきまりに気づくことができる。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
5分	1 本時の学習課題をつかむ。 ・問題文を読み、場面と数値について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・等分ではなく、分けるときに差をつけて分ける問題であることをおさえる。 ・図をかいて考えることを伝える。
3分	2 個人で計算の見通しをもつ	
2分	3 学習のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 図を使って、差をつけて分ける問題の解き方を説明しよう。 </div>		
8分	4 エキスパート活動をする。 [エキスパートA] ・先に等分してしまうと間違ってしまうことに気づく。 [エキスパートB] ・もとの量をちがう量に分けるとき線の分図は、長さ比べのように書くとよい。 [エキスパートC] ・ちがう量に分けるときは、もとの量からちがいを引いて、残りを割り算で等分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの資料をジグソーで説明できるように準備させる。 ・手元の資料は万が一の時のため、できる限り鉛筆で書き込むことはせず、画面共有をして一緒に考えるよう伝える。 ・エキスパートの分からない箇所はジグソー班で友達と一緒に考えてもらってよいことを伝える。
12分	5 ジグソー活動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・画面共有など、機器の操作の面で難しい児童もいるので、補助の先生方に協力してもらう。
10分	6 クロストークをする。 差をつけて分けるときにはどのように解くとよいか考えを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の画面共有が難しい場合は補助の先生に協力してもらい、それでも難しければホワイトボード機能を使って板書をする。
2分	7 まとめをする。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;">ちがいの12まいに目をつけるとよい。図に表すとわかりやすい。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめや振り返りは手元の紙資料に書かせる。
3分	8 本時の振り返りをする。	

グループの人数や組み方	
エキスパート班は、（3人×5班，2人×1班）	ジグソー班は、（3人×3班，4人×2班）